

新年明けましておめでとうございます。年頭に当たり皆様のますますのご健勝、ご多幸をお祈りいたします。また、旧年中は格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございました。

一連の政務活動費問題により、兵庫県議会は県民の信頼を大きく失墜してしまいました。以降、「兵庫県政務活動費の交付に関する条例」の改正を行う等、制度の適正な執行と透明性の確保に取り組んでいます。しかし、まだまだ、「甘い」とのご指摘もいただくところではありますが、私も議員の一人として、たゆまぬ改善を重ねるとともに、一日も早い信頼回復に努めてまいります。また、議会の使命である執行機関の監視と政策提言に一層尽くし、県民の負託にこたえていく所存であります。

さて、師走総選挙の結果、安倍政権は国民の支持を得、安定した政権運営のもと、経済、安全保障等々、その政策を力強く進められることでしょう。

特に経済政策においては、その効果をわが丹波地域でも実感できるものになければなりません。

つまり「地方創生」は、我が地域の旗印との思いを持って活用しなければならないということです。

都市部に近い丹波地域、とりわけアーバンネットワーク内である篠山市においては先人のご尽力により、その進むべき方向性や基盤はしっかりとしています。

これからは「まちのカラー」をより明確にしていき、「我が地域はこういう地域である」と住む人が胸を張り、誇りを持って主張し、また、それに共感できその価値を更に高められる人・モノ・カネのみを呼び込む。この経営理念の下で地域づくりを固め、明確な経営指針を持って私たち自らが「丹波篠山創生」を成し遂げなければなりません。

ともに進みましょう「行動は明日のために!! 力強いふるさとづくり!!」。